



# かけがえのない自然 丹沢

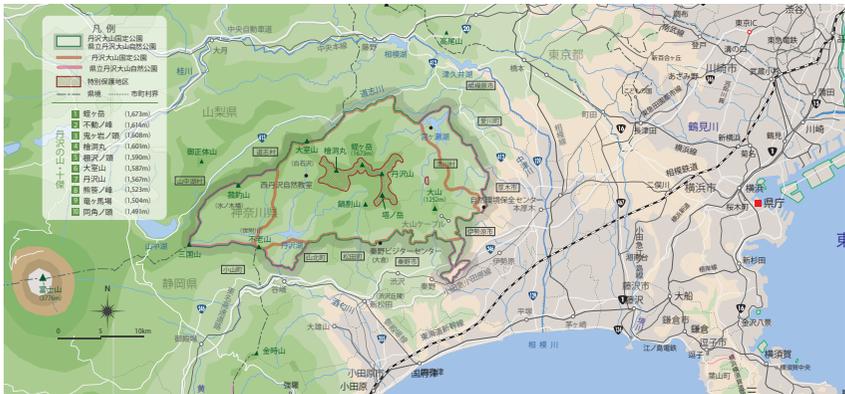
丹沢は、都心からわずか50km、神奈川県かながわけんの北西部に横たわる面積約4万ヘクタール（県の面積の約6分の1）の山々の集まりです。首都圏の一角に位置するにもかかわらず、豊かな自然が残されている山地として注目されてきました。

標高1,673mの蛭ヶ岳を最高地点とし、ほかに1,500mを超える山は檜洞丸、丹沢山など9座を数えます。

また、丹沢山地の東端に位置する標高1,252mの大山は、古くから信仰の対象として、広く親しまれてきました。

ブナやモミの原生林に代表される豊かな森、ニホンカモシカやツキノワグマなどの大型哺乳類をはじめとする多様性に富んだ動物たち、さらに、多くの滝や深い溪谷など、丹沢の自然を特徴づける存在は少なくありません。

丹沢山地は、私たち人間を含めた生き物にとって、かけがえのない森なのです。



丹沢山地の大部分が自然公園に指定されています。

## 丹沢は「水源の森」

神奈川県で使われている水の多くは、丹沢の森がはぐくんでいます。丹沢の森は、私たちの生活にかかせない大切な財産です。

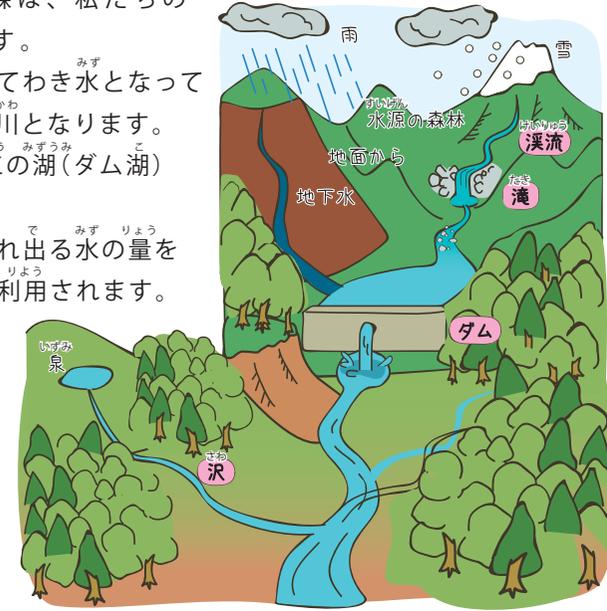
山に降った雨や雪は、時間をかけてわき水となり流れだし、やがて谷を作り、小さな川となります。

ダムでせき止められた川は、人工の湖（ダム湖）となります。

ダム湖にたくわえられた水は、流れ出る水の量を調整して、飲み水や水力発電などに利用されます。



宮ヶ瀬ダム（高取山から）

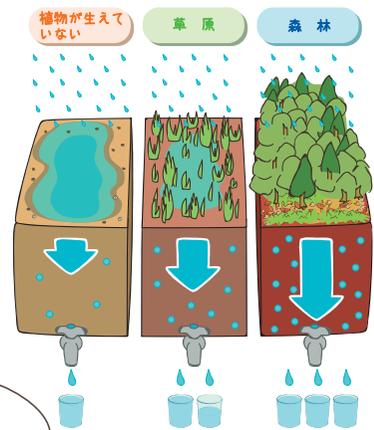


## おいしい水を作る丹沢の森

雨が降ると森では木々や下草、落ち葉などが、やわらかく雨のしずくを受け止め、ゆっくりと地表に届いた雨水のほとんどが土の中へしみこんでいきます。

健全な森の土は、スポンジのような役割をはたすので、地下にたくさんの水がたくわえられています。

森の土にしみこんだ雨水は、時間をかけて、きれいでおいしい水となります。



ふだんあたりまえに  
つかっている水が、  
じつは丹沢から  
きていたんだね。



丹沢、いつも  
おいしい水を  
ありがとう！